

1. 授業のねらい・概要

現在コンピュータ上で扱われる文字や画像・映像・音声などは、別個に生み出されてきたさまざまなメディアをルーツとする。それらのメディアは、誕生にあたって現在とはまったく異なるかたちをとっていたり、別の用途に使われていたり、あるいはいつしか消えていったりしながら変遷してきた。この講義では、こうしたメディアが誕生した当時の文化や環境などの時代背景をふまえたうえで、その後の展開から現在までの流れを概観する。こうした多様な展開を分析することによって、現代におけるデジタルメディアの持つ特性と意義を探る。

2. 授業の進め方

基本的に講義形式で進めるが、必要に応じて演習を交える。

3. 授業計画

1. メディアとその意味	9. 通信メディア(3): テレビ
2. テキストメディア(1): 文字の誕生	10. デジタルメディア(1): コンピュータの誕生
3. テキストメディア(2): 書物と印刷術	11. デジタルメディア(2): コンピュータの発展
4. 画像メディア: 写真	12. デジタルメディア(3): インターネット
5. 音響メディア: 蓄音機とレコード・CD	13. デジタルメディア(4): インターネットの技術
6. 映像メディア: 映画	14. ソーシャルメディア
7. 通信メディア(1): 電信と電話	15. メディアとデジタルテクノロジー
8. 通信メディア(2): 無線通信とラジオ	

4. 到達目標

それぞれの時代、それぞれの社会の中でメディアがどのように生み出されてきたのかを説明することができる。とくにメディアの機能と関わりの深い技術的側面について理解し説明できるようになる。現代のメディアが本来的に持っている多様な可能性について十分に理解した上で説明することができる。

5. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容

講義において扱われた内容を十分に復習し、各回の授業テーマについて資料等を参考に復習しておくこと。

6. 成績評価の方法・基準

受講態度および期末試験による。

7. テキスト・参考文献

必要に応じて資料を配布する。

8. 受講上の留意事項

映像等の提示が多くなるが、単にそれらを眺めて終わるのではなく、分析的な目で見てその背景や特質を理解するように努めること。概要や感想などをその都度メモしておくこと。